第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 再生コンクリート

再生コンクリート

座長:坂井吾郎(土木),辻埜真人(建築)
2024年6月27日(木) 13:15 〜 15:00 第1会場 (小展示室A)

[1183]再生粗骨材の CO_2固定量の分析・調査に関する一考察

李暁赫[1], 髙橋祐一[1] (1.五洋建設)

キーワード：再生骨材、モルタル塊、保管条件、示差熱重量分析、CO_2固定量

本検討では，再生粗骨材を対象として， TG-DTAによる再生粗骨材の CO_2含有率の分析の省力化を目的として，再生粗骨材に含まれるモルタル塊を対象とした方法の有用性について検討を行った。さらに，複数種類の再生粗骨材を対象に，それぞれから抽出したモルタル塊を用いて，原コンクリートの種類，保管期間中の乾湿条件， CO_2濃度および保管期間が CO_2固定量に及ぼす影響について検討した。その結果，保管期間中における再生粗骨材の CO_2固定量は，原コンクリートの種類や各保管条件で異なり，とくに，保管前の CO_2含有量が小さいと，大きくなる傾向がみられた。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会